

\*\*\*\*\*

佐賀産業保健総合支援センター「かささぎ」メール・マガジン

第114号 2017年11月30日

\*\*\*\*\*

◇◆◇<目次>◇◆◇

1. 研修会のご案内
2. お知らせ

---

## ■ 1. 研修会のご案内

---

### ★☆☆【産業保健研修】☆☆★

<産業保健研修会番号 49>\*\*\*\*\*

※研修会場が確定しました

日 時：平成30年3月15日（木） 14:00~16:00

会 場：アバンセ（第2研修室A）

テーマ：職場のメンタルヘルス（うつ病対策と自殺予防）

9/22と同内容

講 師：新地浩一 相談員（佐賀大学医学部 教授（国際保健看護学））

<産業保健研修会番号 43>\*\*\*\*\*

※研修会番号43が開催中止となりました

日 時：平成30年1月18日（木） 14:00~16:00 → 中止

会 場：メートプラザ（佐賀市兵庫北）

テーマ：健康づくり（定期健康診断後の事後措置）

※なお、同様の「健康管理研修会」として、産業保健研修会番号 48をあらためてご案内します。

日 時：平成30年2月20日（火）14:00~16:00

会 場：メートプラザ 多目的室（佐賀市兵庫北）

テーマ：「活かしているだろうか？・・・健康診断」

講 師：渡辺良子 産業保健相談員（臨床心理士・保健師・産業カウンセラー）

---

## ■ 2. お知らせ

---

### ◆ 特別講演セミナー（主催：佐賀県医療センター好生館）

講 師：鈴木 章記 厚生労働省労働基準局安全衛生部労働衛生課 労働衛生管理官

演 題：両立支援の戦略的推進

日 時：平成29年12月7日（木）18:30~19:30

開 場：佐賀県医療センター好生館 2階多目的ホール

対象者：医療関係従事者、行政職員、両立支援に係る関係者

座 長：中川原 章（佐賀県医療センター好生館 理事長）

参加無料でお申込み先は、

佐賀県医療センター好生館 担当者E-mail：[ooishi-miho@koseikan.jp](mailto:ooishi-miho@koseikan.jp)

◆ がん相談地域連携研修会

日 時：平成 29 年 12 月 13 日（水）13:30～16:00（受付 13:00～）

開 場：佐賀大学医学部附属病院 臨床大講堂

対象者：医療・福祉関係従事者、企業関係者

テーマ：がんと就労～就労支援事業を活用して就労定着した事例を通して～

① 講義 13:40～14:40

② シンポジウム 14:50～15:50（患者の立場、企業の立場、医療機関の立場、就労支援者の立場のそれぞれから意見等）

参加無料でお申込み先は、

佐賀大学医学部附属病院 地域医療連携室（がん相談支援センター）

参加受付担当：MSW 江口 利信 TEL 0952-34-3113（直通）

主催：佐賀大学医学部附属病院、佐賀県医療センター好生館、唐津赤十字病院、嬉野医療センター

共催：佐賀県、佐賀県健康づくり財団、佐賀産業保健総合支援センター

◆ 心の健康づくりフォーラム

日 時：平成 30 年 2 月 27 日（火） 13:30～16:15

会 場：佐賀市立東与賀文化ホール（佐賀市東与賀町下古賀 1228-3）

テーマ：若者が抱える働きづらさと周囲の理解

【特別講演】「若者の生態学」 精神科医 中島 央（医療法人横田会向陽台病院 副院長）

【実践報告】

① 「生きる・生きる力をサポートする：現場から働く若者へ寄り添う」

真崎 康子（当センターメンタルヘルス対策促進員、シニア産業カウンセラー）

② 「中小企業における健康経営のすすめ」

濱地 誠二（㈱クライミング 代表取締役会長）

申込先：佐賀県労働基準協会、佐賀県精神保健福祉協会

詳細は、

[http://sagas.johas.go.jp/public/\\_upload/type010\\_1\\_3/file/file\\_15114882907.pdf](http://sagas.johas.go.jp/public/_upload/type010_1_3/file/file_15114882907.pdf)

をご覧ください。

◆ 社会医学系専門医・指導医の認定申請手続きについて（本年 12 月のみの経過措置）

日本職業・災害医学会（以下：本学会）は本年度より社会医学系専門医協会（以下：協会）に加入しました。これにより、一定の社会医学活動の経験を有する本学会の会員医師は、協会の「経過措置」に基づき書類申請を行ってもらうことで、社会医学系専門医・指導医の資格を取得することが可能となりました。

協会の経過措置による社会医学系専門医・指導医の申請は本年 12 月の 1 ヶ月間だけ協会にて募集・受付される予定です。（（一社）日本職業・災害医学会より）

◎認定基準等は、[こちら](#)よりご確認ください。（一社）日本職業・災害医学会HP）

<http://www.jsomt.jp/information/keika-sochi.html>

※認定申請の日程・手続き等の詳細は、[こちら](#)のページをご確認ください。

<http://shakai-senmon-i.umin.jp/>

（申請期間：平成 29 年 12 月 1 日～12 月 31 日）

- ◆ いきいき職場作りのための参加型職場改善の手引きをあらためて紹介します。  
平成 27 年度厚生労働科学研究費補助金「事業場におけるメンタルヘルス対策を促進させるリススクアセスメント手法の研究」の一環として開発されたものです。  
詳細は、[http://kokoro.mhlw.go.jp/manual/files/H27\\_ikiki\\_shokuba\\_kaizen.pdf](http://kokoro.mhlw.go.jp/manual/files/H27_ikiki_shokuba_kaizen.pdf)  
をご覧ください。
  
- ◆ 「過重労働解消相談ダイヤル」の相談結果を厚生労働省が公表しました。  
今回の無料電話相談「過重労働解消ダイヤル」には、合計 367 件の相談が寄せられました。相談内容としては、長時間労働・過重労働に関するものが 136 件 (37.0%) で最も多く、次いで賃金不払残業が 110 件 (29.9%)、パワハラが 28 件 (7.6) でした。  
詳細は、<http://www.haisin.mhlw.go.jp/mhlw/C/?c=238348>  
をご覧ください。
  
- ◆ 「ハラスメントと暴力に関する実態調査」結果を発表／日本労働組合総連合会  
「職場で受けた、または見聞きしたハラスメント」がある人は 5 割半ば、そのうち「パワハラなどの職場のいじめ・嫌がらせ」が 45% と最も多く、次いで「セクハラ」41%、「ジェンダーハラスメント」25%、「マタハラ」21% などと続いており、職場でのハラスメントは「上司や先輩」から受けているケースが最も多かった。  
詳細は、<https://www.jtuc-rengo.or.jp/info/chousa/data/20171116.pdf>  
をご覧ください。
  
- ◆ 第 4 回「柔軟な働き方に関する検討会」資料を公表／厚労省  
厚生労働省は、11 月 20 日に開催された「第 4 回柔軟な働き方に関する検討会」資料をホームページで公表しました。雇用型テレワーク、自営型（非雇用型）テレワーク、副業・兼業の推進に関するガイドライン骨子（案）のほか、モデル就業規則の改定（副業・兼業部分）の方向性等が示されています。  
詳細は、<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000185340.html>  
をご覧ください。
  
- ◆ 死傷者・死亡者数、前年同期比増加／2017 年労働災害発生状況（10 月末速報）  
厚生労働省は 20 日、2017 年の労働災害発生状況（2017 年 10 月末速報）を公表しました。死傷者数は 87,125 人で前年同期比 1,229 人 (1.4%) 増、死亡者数は 701 人で前年同期比 32 人 (4.8%) 増でした。  
死傷災害の業種別では、第三次産業が 39,745 人と最も多く、前年同期比 1,033 人 (2.7%) 増、事故の型別では、転倒 20,059 人で前年同期比 318 人 (1.6%) 増と最も多く、引き続き「STOP! 転倒災害プロジェクト」を実施中。  
詳細は、[http://www.mhlw.go.jp/bunya/roudouki\\_jun/anzeneisei11/rousai-hassei/](http://www.mhlw.go.jp/bunya/roudouki_jun/anzeneisei11/rousai-hassei/)  
をご覧ください。

◆ 定期健康診断有所見率の推移【佐賀県・全国】

佐賀県内における近年の定期健康診断の有所見率（健康診断項目のうち異常所見のあった者《有所見者》の割合）は、常に全国平均を上回って推移しており、平成28年は55.6%と、過去2番目に高い率となっています。健康診断の実施だけではなく、適切な事後措置を行うとともに、有所見率の改善に向けた取組が求められています。

脳血管疾患及び虚血性心疾患等（以下「脳・心臓疾患」という。）による労災請求件数は、過去5年間、全国的には800件前後で推移しています。この脳・心臓疾患を予防するためには、その機序となる脂質異常症や、高血圧症、糖尿病等の生活習慣病と関係が深い健康診断項目の有所見者に対して、適切な事後措置を行い、有所見状態の改善を図ることが重要です。特に、「過労死」にも繋がる脳・心臓疾患に関する検査項目に着目した健康確保対策を進めましょう。

[http://saga-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/library/saga-roudoukyoku/a\\_kyoutu/201741316106.pdf](http://saga-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/library/saga-roudoukyoku/a_kyoutu/201741316106.pdf)

◆ 化学物質リスクアセスメントセミナー（基礎コース）の開催 【みずほ情報総研 厚生労働省委託事業】

本セミナーでは、特に第3次産業の事業者など少量・低頻度で化学物質を取り扱う事業者を主な対象として、化学物質のリスク及びリスクアセスメントの基礎からツールの使い方まで解説します。

[https://www.mizuho-ir.co.jp/seminar/info/2017/ra\\_kiso/index.html](https://www.mizuho-ir.co.jp/seminar/info/2017/ra_kiso/index.html)

◆ 改正安衛法に基づくリスクアセスメントの基本・GHSラベルを活用したHOWTO職場の安全衛生教育セミナーの開催 【みずほ情報総研 厚生労働省委託事業】

本セミナーでは、労働者の化学物質の危険有害性に対する認識の向上などを目的に、安全衛生教育担当者を主な対象として、労働安全衛生法の改正のポイントについて簡単に解説するとともに、リスクアセスメントの基本やGHSラベルおよび過去の災害事例を活用した安全衛生教育の方法などについて解説します。

[https://www.mizuho-ir.co.jp/seminar/info/2017/ra\\_anzeneisei/index.html](https://www.mizuho-ir.co.jp/seminar/info/2017/ra_anzeneisei/index.html)

◆ 産医大「首都圏プレミアムセミナー」のご案内（産業医・保健師等向け）【産業医学大学】

産業医科大学による「首都圏プレミアムセミナー」が始まります。

（産業医・保健師等産業保健スタッフ、経営者・人事労務管理者向け）

過重労働、メンタルヘルス不調、高齢者雇用、危険・有害業務・・・。

働く人をとりまく健康の問題は深刻かつ複雑化しています。それにともない、産業保健に携わる方々に求められる能力も刻々と高度化しています。

これらを受け、本学は、開学以来約40年の蓄積と輩出人材をもとに、これまでにない事業を展開していくことにしました。

その1つがこの教育事業、「首都圏プレミアムセミナー」です。（産医大HPより）

◎詳細、お申込みはこちら

（産医大HP） <http://www.uoeh-u.ac.jp/medical/training/syutoken/seminar.html>

[http://sagas.johas.go.jp/public/\\_upload/type010\\_1\\_3/file/file\\_15059708046.pdf](http://sagas.johas.go.jp/public/_upload/type010_1_3/file/file_15059708046.pdf)

◆ 第2回医師の働き方改革に関する検討会【厚生労働省】

- 1 医師の働き方改革に関する検討会の今後の進め方、主な論点
- 2 労働基準法上の労働時間法制について
- 3 医師の勤務実態について

◎詳細はこちら <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000178021.html>

- ◆ 平成 29 年度から産業保健関係助成金のメニューが拡充されています【労働者健康安全機構】  
職場における労働者の健康管理等のために、積極的にご活用ください。
- 1 ストレスチェック助成金（労働者数 50 人未満の事業場が対象）
  - 2 小規模事業場産業医活動助成金（労働者数 50 人未満の事業場が対象）
  - 3 職場環境改善計画助成金（Aコース・Bコース）
  - 4 心の健康づくり計画助成金（法人格を有する企業単位）

◎詳細はこちら <https://www.johas.go.jp/sangyouhoken/tabid/1151/Default.aspx>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

ご相談・ご質問をお待ちしています！

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

佐賀産業保健総合支援センターでは、産業医や事業場の労務管理者等の方が産業保健活動を実践する上での様々な問題に関するご相談・ご質問を窓口（予約面談）・電話・Eメール等で受付・応対しています。産業医学・労働衛生工学等各専門分野の相談員などが対応し、問題解決に向けた助言をさせていただきます。ご利用は無料ですので、どうぞお気軽にご利用ください。

【担当分野・相談例】

- 産業医学 : 健康診断の事後措置、職業性疾病の予防対策、職場巡視の方法
- 労働衛生工学 : 作業環境の維持管理と改善の方法、測定機器の扱い方
- メンタルヘルス : 職場におけるメンタルヘルスの進め方
- 労働衛生関係法令 : 労働安全衛生法など関係諸法令の解釈
- カウンセリング : 職場における指導・相談の進め方
- 保健指導 : 勤務形態や生活習慣病に配慮した生活指導の仕方

※各専門分野の相談員名簿についてはこちら↓↓

<http://sagas.johas.go.jp/index.php?id=7>

◇∞∞∞◇

独立行政法人 労働者健康安全機構 佐賀産業保健総合支援センター  
〒840-0816 佐賀市駅南本町 6 - 4 佐賀中央第一生命ビル 4 階  
TEL 0952-41-1888 FAX 0952-41-1887

●ホームページ <http://sagas.johas.go.jp/>

●Eメール [sanpo41-8@sagas.johas.go.jp](mailto:sanpo41-8@sagas.johas.go.jp)

◇∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞◇

メルマガ変更・配信中止のご通知は「メルマガメールアドレス変更」または「メルマガ配信中止」と件名にご記載の上、こちら [sanpo41-8@sagas.johas.go.jp](mailto:sanpo41-8@sagas.johas.go.jp) まで)

【記入例】 件名：メールアドレス変更希望

旧アドレス[ ]

新アドレス[ ]